

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額	
1 教育	1 教養教育の充実	1 カリキュラムと科目内容の検討・改編	カリキュラムの見直し	○平成19年度からの実施に向けて、教養科目・基礎科目を改編する。 ・教員の意見、学生の要望等の集約・分析 ・カリキュラム、科目内容の改編	○カリキュラム案の作成	—	
		2 教養演習の改善	共通テキストの作成	○平成19年度からの導入に向けて、全学共通教養演習テキストを作成する。 ・教員の意見、学生の要望等の集約・分析 ・先進事例の調査 ・授業内容及び方法の検討、決定 ・全学共通教養演習テキストを作成	○教養演習の共通テキスト作成	600	
			貢献度調査	○貢献度調査の実施	○貢献度調査の実施	—	
		計					600
	2 専門教育の充実	1 カリキュラムと科目内容の検討・改編	カリキュラムと科目内容の検討・再編	○平成20年度からの導入に向けて、学部・学科の将来構想を検討する。 ・教員の意見、学生の要望等の集約・分析	○学部・学科の将来構想の作成	—	
			2 経験型実習の導入 (看護学部、人間社会学部社会福祉学科)	経験型実習導入拡大の検討	○平成20年度の導入に向けて、以下の取り組みを行う。 ・看護学部：経験型実習の拡大・充実(追加領域の検討、次年度実習案の検討) ・人間社会学部：経験型実習の実施に向けた調査研究	○看護学部：次年度実施領域の拡大 ○学生の成績：良以上80%(看) ○学生による授業評価：4以上75%(看) ○実習先アンケート：良好評価75%(看) ○人間社会学部：調査研究報告書の作成	—
		3 情報教育の拡充を通じ、地域社会を多面的に考察できる人材を育成する教育の強化 (人間社会学部社会学科)	社会調査士資格取得に必要なカリキュラムの導入	○社会調査士資格取得に必要なカリキュラムの継続	○社会調査士資格取得者数：希望者全員 ○学生の成績：良以上70% ○学生による授業評価：4以上70% ○個人業績評価(授業活動)B以上65% ※「学生の成績」以下の目標は、社会調査士資格認定に関する教科目についての結果を用いる。	—	
			情報系カリキュラムの強化の検討	○情報系カリキュラムの強化 ・教員・学生等の意見集約・分析 ・少人数教育への導入方法の検討 ・開講科目検討、個別相談体制案作成	○強化案の作成	—	
		4 実践力を身につけさせるための体験的学習の推進(人間社会学部人間形成学科)	体験的学習導入拡大の検討	○平成20年度からの実施に向けて、以下のことを検討する。 ・教員・学生等の意見集約・分析 ・体験的学習方法の推進方法と次年度計画の検討	○導入構想案の作成	—	
		5 他の学部・学科の専門領域を学べる教育プログラムの導入	他の学部の専門分野を学ぶための実施計画と準備 両学部の学生が連携の必要性等を一緒に学習する教育プログラムのための実施計画と準備	○平成19年度からの実施(実習科目の単位化は21年度からの実施)に向けて、以下の検討を行う。 ・各専門職の現場でのニーズ把握 ・既存科目の見直し、新たな授業科目の検討 ・基本計画の策定	○基本計画の策定	—	
6 実践的で高度な専門職業人育成の推進 (人間社会学部大学院)	人間社会学部研究科修士課程の再編準備	○時代のニーズに対応した修士課程の再編を行う。 ・2専攻3分野 → 3専攻 ・文部科学省への届出(6月)	○受験倍率：2倍以上 ○文部科学省への届出・実施	—			
	人間社会学部研究科修士課程における臨床心理士第一種に変更の準備	○臨床心理士第一種の大学院としての指定を受けるための準備を行う。 ・整備計画の立案	○整備計画案の作成	—			

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額
※1「教育の 続き」	※2「専門教育の充実」 の続き	7 実践的で高度な専門職業人育成の推進 (看護学部大学院)	修士課程設置準備	○平成19年4月開設に向けた準備を行う。 ・文部科学省への認可申請(6月) ・認可(11月) ・募集要項、要項作成(12月) ・入学試験(1月) ・開設(4月)	○文部科学省の認可 ○受験倍率:2倍以上	4,663
		8 社会人の大学院生が学びやすい授業形態の導入	社会人に対応した授業形態の検討	○平成19年度からの実施に向けての検討を行う。(看護学部) ・夜間・休日の開講、eラーニング等の検討 ・文部科学省への認可申請(6月)	○基本原案の作成 ○社会人受験者数:定員の半数以上	—
	計					4,663
	3 教員の教育能力の向上	1 学生の授業活動評価の実施	学生授業活動評価の実施・修正	○授業アンケート調査を実施し、授業の改善に活かす。 ・アンケート実施(前期・後期) ・アンケート週計・分析 ・調査報告書作成	○調査報告書の作成	—
			2 教員の個人業績評価制度及び任期制の導入	教員個人業績評価制度導入 任期制導入	○個人業績評価制度の実施と検討 ○任期制の導入	○評価の実施 —
		3 FD活動の強化	FD・授業改善の準備	○両学部一体となったFD活動強化のため、以下の取り組みを行う。 ・ワークショップ形式のFDセミナー及び効果の検証 ・FD研修会への派遣 ・関係図書配付	○教員参加率:100% ○学生による授業評価:4以上60%以上 ○個人業績評価(授業活動):B評価以上60% ○セミナー等の開催:3回	840
	計					840
	4 学生の確保	1 特待生などより質の高い学生の確保	アドミッションポリシーに適った入試制度の検討	○21年度入試からの実施に向けて制度の検討を行う。 ・アドミッションポリシーの確定 ・入試方法、内容等の検討	○入試制度改正案の作成	3,818
			2 積極的な広報活動	広報活動等の改善の検討	○学生確保のため、以下の取り組みを行う。 ・オープンキャンパス ・出前講義 ・高校訪問 ・入試説明会 ・広報活動等の改善案の検討	○オープンキャンパス参加者数:1,000人以上 参加者アンケート:良好評価75%以上 ○ホームページアクセス数:2,000件 ○入試説明会参加数:6会場 参加者アンケート:良好評価75%以上 ○出前講義:20校 ○高校訪問:10校 ○改善案の作成
	計					3,818

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額
※1「教育の 続き」	5 成績評価	1 厳格な成績評価の実施	成績評価基準の検討	○成績評価基準を作成する。 ・現在の問題点の明確化 ・他大学の先行的評価法の調査 ・成績評価基準の作成	○成績評価基準の作成	300
			シラバス記載の改善検討	○成績評価基準のシラバス等への記載方法(学生への周知方法)を検討する。 ・学生及び教員へのアンケート調査 ・次年度記載方法案作成	○成績評価基準のシラバスへの記載方法決定	
			GPAの導入の準備	○GPA制度の活用法を検討する。 ・先行大学の実践状況について情報収集 ・導入する場合の環境整備等の検討	○GPA活用法と手順の実施案の作成	
	計					
6 学生への支援	1 入学から卒業までのキャリア支援体制の構築	学生支援の機能を強化し就職支援担当職員を配置・研修	学生支援の機能を強化し就職支援担当職員を配置・研修	○事務局のキャリア形成支援体制を検討し、実施する。	○事務局のキャリア形成支援体制の構築 ○就職先訪問数:新規20件以上 ○就職先アンケート結果:良好以上70% ○就職率:95%以上	753
			就職支援体制の計画	○入学から卒業まで一貫したキャリア形成支援体制を構築する。 ○キャリア形成支援体制としてのインターンシップ等を検討する。 ・福岡県インターンシップ協議会によるインターンシップの継続 ・近隣市町村等へのインターンシップ受入打診	○一貫したキャリア形成支援体制案の作成 ○インターンシップ参加者数(率):20人以上 インターンシップ先アンケート :良好以上80%以上	
			キャリア支援講座準備	○平成19年度からの実施に向けキャリア形成支援講座を計画する。 ・既存科目の内容をキャリア形成の視点から整理する。 ・新設科目を検討する。	○キャリア形成支援講座計画の作成	
	2 卒業生への支援	卒業後の追跡調査準備	卒業後の追跡調査準備	○就職した卒業生の追跡調査実施案の検討 ・文書照会、状況把握	○追跡調査の実施案の作成	-
			未就職者への就職活動支援の実施	○卒業1年以内の未就職者への就職支援活動を行う。 ・案内送付 ・就職相談の実施	○卒業1年以内の全希望者に対応する。 ○(上記全希望者の)就職率30%以上	
			キャリアアップコース・リカレント研修の実施	○キャリアアップコースやリカレント研修の実施 ・卒業生への情報提供(案内送付等) ・研修等の実施	○キャリアアップコースやリカレント研修の実施 :1回以上	
	計					
合計						10,974

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額
2 研究	1 特色ある研究の推進	1 附属研究所に従来の生涯福祉研究センターと新たにヘルスプロモーション実践研究センターを組織し、両学部が連携した学際的な研究プロジェクトを実施	ヘルスプロモーション実践研究センターの設置	○附属研究所の立ち上げ ・附属研究所内にヘルスプロモーション実践研究センターを設置 ・運営体制の構築 ○附属研究所を核とした両学部連携でのプロジェクトの企画・検討 ○研究プロジェクトに関する各種ガイドライン等の作成	○附属研究所の立ち上げ ○両学部連携プロジェクトの実施:1件以上 ○ヘルスプロモーション実践研究センター開設記念シンポジウムの開催	6,091
			両センターからなる附属研究所の立ち上げ			
			研究プロジェクト組織体制の検討			
		2 外部研究資金の獲得	外部研究資金の獲得	○外部資金獲得率向上を目的とするプロジェクトの実施 ・申請に関するマニュアル作成、相談の受付 ・科研費に関する教員説明会の開催 ○公募情報の提供 ・学内教員を対象としたメールマガジンの発行	○外部研究資金への応募件数:60件以上 外部研究資金の獲得件数:20件以上 ○外部研究資金合計:5千万円以上	
	3 産学官連携の推進	産学官連携の推進	○附属研究所を核として、産学官連携体制を構築する。 ・ガイドラインの作成(シーズ情報の発信方法や知的財産の取扱いなど) ・e-Zukaiアドバイザー産学官技術交流会運営委員への就任、同交流会への学内教員の参加促進	○連携体制の構築 ○産学連携契約件数:2件以上	—	
4 研究費の配分	研究費の配分	○理事長裁量経費としての研究奨励交付金制度を拡充する。	○研究奨励金の割合:30% ○論文数(査読付、学術書掲載分):70件以上 ○学会発表(招待講演、シンポジスト招聘分):6件以上	—		
	計					6,091
合計						6,091

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内容	18年度達成目標	予算額	
3 社会貢献	1 地域貢献	1 地域住民の健康の向上、福祉、教育等の相談・支援等の実施	健康教室の実施・修正	○地域住民を対象とした健康教室を開催する。	○健康教室：5件以上 ○健康教室参加者数：150人以上 ○参加者アンケート：良好評価75%以上	—	
			福祉・教育・健康の相談事業の検討	○福祉・教育・健康に関する地域住民や団体に対する相談活動体制を整備する。 ・組織、体制づくり(相談プログラム、ガイドライン作成) ・環境整備(設置場所、必要品等) ・大学院生や卒業生、リカレント教育の場として機能させる方策の検討	○相談事業案の作成	—	
		2 資格・免許保持者等へリカレント教育や研修の実施	講習会・シンポジウムの検討	○リカレント教育のカリキュラムを検討する。 ○シンポジウムを開催する。	○看護師等に対するリカレント教育等の実施案の作成 ○シンポジウム開催数：1回以上 シンポジウム参加者数：100人以上	—	
			公開講座の実施	○公開講座を充実させる。	○公開講座数：3コース 公開講座受講者：募集定員を満たす 公開講座参加者アンケート：70%以上の良好評価	257	
	計						257
	2 国際交流	1 保健福祉に関する教育情報の交換及び研究成果の発信	情報交換と発信の検討	○情報交換・発信手段及び内容の検討	○具体案の作成	1,109	
			学術教育交流する大学の検討	○大邱韓医大校との学術・教育交流に関する協定締結 ・締結時期：6月 ○学術・教育交流内容の検討 ・韓国の大学訪問、意見交換、情報収集 ・方針決定	○協定締結の実施 ○交流大学の選定：1校以上		
			2 交換留学制度の拡大・短期研修制度の導入	交換留学生の増加対策の検討	○南京師範大学との学生交流の継続 ○新たな大学との交換留学の検討	○留学生の相互交流：1名	1,050
		短期研修制度の検討	○学生の海外短期研修の実施 1. イギリス・ヨーク大学 ・時期：夏季 ・期間：2週間 2. オーストラリア・モナッシュ大学 ・時期：2月 ・期間：3週間	○学生の海外短期研修プログラムの実施 ・2コース			
		学部生、大学院生の留学受け入れの検討	○留学生受入対策の検討	○具体案の作成			
計						2,159	
合計						2,416	

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額
4 業務運営	1 運営体制の改善	1 全学的視点からの戦略的な学内資源配分の実施と事務局機能の強化	予算及び人員の効率的配分の実施	○学内資源配分の検討 ○事務局運営の見直し	○学内資源配分見直しの実施 ○事務局の実施体制の見直し	—
		2 教育研究組織の編成・見直し	自己点検・評価等に基づく見直し	○自己点検評価や教員担当科目数・受講者数に基づき、組織の柔軟なあり方を検討する。	○自己点検評価報告書の作成 ○教員研究組織の見直し案検討	—
			看護学部講座制の見直し	○看護学部講座制の見直し、再編	○講座制見直し方針の作成	—
		3 安全管理体制の充実	災害時の対策基準の策定	○災害時の対策マニュアル作成	○災害対策マニュアル作成	—
	計	ヒヤリハット報告に基づく事故再発防止の事例検討	○ヒヤリハット防止体制の構築 ・実習時のヒヤリハット内容の調査 ・防止策の検討	○ヒヤリハット報告及び防止策の周知	—	
		防犯・防災の講習会の開催	○防犯・防災の講習会開催 ・内容検討、開催	○1回開催 ○防犯・防災パンフレットの作成、配付	—	
		防災訓練の実施	○防火訓練の実施 ・内容検討、実施	○1回開催	—	
		計			0	
	2 人事の適正化	1 教員の個人業績評価システムの導入と給与への反映	教員の個人業績評価システムの導入	○教育、研究、社会貢献、学内運営を対象とした評価システムの導入	○評価の実施	—
		2 任期制の導入	任期制の導入	○全教員を対象とした任期制の導入	—	—
計						0
合計						0

平成18年度 公立大学法人福岡県立大学年度計画

中期目標項目	中期計画項目	実施事項	実施計画	内 容	18年度達成目標	予算額
5 財務	1 自己収入の増加	1 学生納付金の確保とあり方検討	学生納付金の未納に対する取り組み	○未納督促・除籍等の事務処理の見直し ○過年度分未納者への督促強化	○過年度分未納額の半減 ○18年度分未納率:0%	—
		2 その他の料金による収入の確保	教室、講堂等の大学施設の開放に伴う使用料金の徴収 施設のテナント賃しの実施	○施設使用料の市場調査を行い、施設貸出要綱を定める。	○施設貸出要綱に基づく使用料徴収開始 (10月～)	
			リカレント教育、キャリアアップ教育等における研修会料金の設定、徴収の実施	○研修会料金の先行事例調査・市場調査を行い、徴収料金案を策定する。	○課外講座授業料要綱制定	
		3 外部研究資金の獲得	外部研究資金の獲得	○指定研究費、委託研究費等からの管理手数料という収入獲得原則とその細則の策定	○管理手数料徴収細則の制定	—
	計					0
2 経費の抑制	1 人件費の抑制	人件費の抑制	○大学設置基準を踏まえ、中期教員採用計画等の検討。 ○業務内容や手順を洗い出し、適切に人員を配置する。	○保健師の嘱託への切り替え ○電話交換業務の外部委託 ○公用車の廃止	—	
	2 光熱水費・通信費の節減	通信費の節減 光熱水費の節減	○通信費を1%節減する。 ○看護学部完成年度で増加見込みの光熱水費の節減運動を展開する。 ・電気、水道、灯油使用料の節減目標設定	○通信費を前年比1%節減 ○光熱水費の増加ゼロ		
	計					0
合計					0	
6 評価	1 評価の充実	1 自己点検・評価の実施と結果の公開及び各種評価結果の大学運営への反映	自己点検・評価内容の検討	○学生の授業アンケート実施の継続とアンケート内容の見直し ○専任教員の教育・研究業績評価の実施 ○平成19年度実施に向け、自己点検・評価内容及び方法の再検討、決定	○前年度の自己点検・評価報告書の作成 ○専任教員の教育・研究業績評価の実施 ○改善案の作成	887
		2 教員の個人業績評価システムの導入と給与への反映	教員の個人評価システムの導入	○教育、研究、社会貢献、学内運営を対象とした評価システムの導入 ○評価システムの再検討	○評価の実施 ○改善案の作成	—
	計					887
合計						887
7 情報公開	1 情報公開等の推進	1 情報公開等の推進	情報公開体制の検討	○情報公開体制の検討を行う。 ・情報提供手段の検討 ・個人情報保護体制の内容検討と導入	○個人情報保護規程の作成	—
			広報活動計画の立案	○広報活動の実施と次年度以降の計画を立案する。 ・18年度以降の広報活動計画の立案	○広報活動計画の作成	
			種々の情報公開・広報活動	○種々の情報公開、広報活動の内容を検討する。	○法人化後のホームページ作成 ○大学パンフレット(2種類)の作成 ○広報(2号分)の作成	
			情報管理体制の整備	○情報管理体制を整備する。	○情報管理体制の構築	
	計					0
合計						0
総合計						20,368

平成18年度収支計画予算

公立大学法人福岡県立大学

(単位:千円)

区分	金額
費用の部	1,926,356
業務費	1,698,860
教育研究経費	315,079
教育経費	150,016
学生教育・実習費	82,301
学生募集費	9,761
入学試験費	3,177
厚生補助費	4,956
就職支援費	777
公開講座費	257
国際交流費	2,139
光熱水費	14,763
通信運搬費	1,199
減価償却費	30,686
研究経費	113,853
学術研究費	83,340
産学官連携センター費	5,851
光熱水費	3,550
通信運搬費	3,825
減価償却費	17,287
教育研究支援経費	51,210
図書館費	42,393
光熱水費	4,021
通信運搬費	46
減価償却費	4,750
人件費	1,383,781
役員人件費	49,179
教員人件費	1,117,260
職員人件費	217,342
一般管理費	227,496
運営費	171,363
減価償却費	56,133

区分	金額
収益の部	1,926,356
運営費交付金収益	1,097,678
授業料収益	557,902
授業料収益	556,866
研究料収益	504
聴講料収益	384
科目等履修料収益	148
入学金収益	110,720
検定料収益	26,991
雑益	24,209
財産貸付料収益	248
職員宿舍料	3,633
寄宿舎料収益	16,124
大学証明手数料収益	158
大学入試センター試験実施手数料収益	4,046
受託研究等収益	0
寄附金収益	0
資産見返負債戻入	108,856
資産見返物品受贈額戻入	107,375
資産見返運営費交付金等戻入	1,481

平成18年度資金計画予算

(単位:千円)

区分	金額
資金支出	1,893,299
業務活動による支出	1,817,500
投資活動による支出	75,799
財務活動による支出	0
資金収入	1,893,299
業務活動による収入	1,893,299
運営費交付金による収入	1,173,477
授業料等による収入	695,613
受託研究等による収入	0
その他収入	24,209
投資活動による収入	0
財務活動による収入	0